

## (シラバス No.14)(専門科目(共通領域))

科目名	教育評価特論	単位数	2単位	科目コード	A7
	Advanced Seminar on Evaluation in Education	形態	選択		
		担当教員	黒石憲洋	教職	小中高
<b>【授業概要】</b>					
<p>教育活動を支える重要な一要素である評価の問題について、その意義を再認識し、教育における評価の適切な在り方について学習することを目的とする。そのために、以下の3つを具体的な学習項目とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育評価の理論についての知識習得</li> <li>2. 学習観と学力評価の関連についての検討技能の習得</li> <li>3. 教育評価としての授業評価および学校評価についての知識習得</li> </ol>					
<b>【授業の到達目標】</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育における評価の意義について、教育分野における評価の歴史や他分野における評価の考え方を参照しつつ論じることができる。</li> <li>2. 学習観に応じた適切な教育評価の在り方について、教育目標や指導の在り方と関連づけながら具体的に論じることができる。</li> <li>3. 学力評価・授業評価・学校評価について、教育評価としての共通性を踏まえつつ、その特徴を論じることができる。</li> </ol>					
<b>【授業計画】</b>					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンスとイントロダクション</li> <li>2. 個人差の測定と評価の歴史</li> <li>3. 教育における評価の意義</li> <li>4. 教育評価における客観性と公平性</li> <li>5. 教育における目標と評価</li> <li>6. 能力観と学習観</li> <li>7. 能力の評価、スキルの評価、学習の評価</li> <li>8. DeSeCo によるキー・コンピテンシー</li> <li>9. 新しい学力観と「真正の評価」</li> <li>10. ポートフォリオ評価とルーブリック</li> <li>11. 形成的評価</li> <li>12. 授業評価と授業改善</li> <li>13. インストラクショナル・デザイン</li> <li>14. 学校評価と学校改善</li> <li>15. 教育における評価再考（まとめ）</li> </ol>					
<b>【評価方法】</b>					
授業中に課する、到達目標に対応する3つのレポート（50%）および科目修得試験（50%）。					
<b>【教科書】</b>					
授業時に適宜プリントを配布する。					
<b>【参考図書】</b>					
<p>東洋『子どもの能力と教育評価 [第2版]』（東京大学出版会、2001）</p> <p>池田央『テストの科学：試験にかかわるすべての人に』（日本文化科学社、1992）</p> <p>梶田叡一『教育評価 [第2版補訂版]』（有斐閣、2002）</p> <p>北尾倫彦（編）『新しい評価観と学習評価』（図書文化、1996）</p> <p>高浦勝義『絶対評価とルーブリックの理論と実践』（黎明書房、2004）</p> <p>田中耕治（編著）『新しい教育評価の理論と方法 [I] 理論編』（日本標準、2002）</p> <p>西村文男・天笠茂・堀井啓幸（編）『新・学校評価の論理と実践-外部評価の活用と内部評価の充実-』（教育出版、2004）</p> <p>ロッシ・リップセイ・フリーマン『プログラム評価の理論と方法-システムティックな対人サービス・政策評価の実践ガイド』（日本評論社、2005）</p> <p>学習指導要領及び解説（小学校・中学校・高等学校）：文部科学省</p>					